

宮城県感染症発生動向調査情報

平成28年8月4日発行

— 2016.7.25 ~ 2016.7.31 — 第30週 —

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							患者数	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第27週	第28週	第29週	第30週
水痘	9 1.80	1 0.10		3 1.50	1 0.33	2 0.40	1 0.50	8 0.30	25 0.42	957	○	○	○	○
流行性耳下腺炎	13 2.60	3 0.30	1 0.20					1 0.04	18 0.31	706	○	○	レ	
百日咳					1 0.33				1 0.02	12				
感染性胃腸炎	25 5.00	17 1.70	14 2.80	9 4.50	8 2.67	10 2.00		110 4.07	193 3.27	11,031	◎	◎	◎	◎
手足口病	2 0.40	13 1.30		1 0.50		1 0.20		65 2.41	82 1.39	234		○	○	◎
伝染性紅斑		1 0.10				1 0.20		1 0.04	3 0.05	289				
突発性発しん	6 1.20	7 0.70	5 1.00	2 1.00	2 0.67	6 1.20	1 0.50	17 0.63	46 0.78	960	○	○	レ	○
ヘルパンギーナ	13 2.60	65 6.50	13 2.60	7 3.50	4 1.33	12 2.40		154 5.70	268 4.54	643	○	◎	◎	◎
インフルエンザ									0 0.00	28,054				
咽頭結膜熱	1 0.20	4 0.40	1 0.20		1 0.33	1 0.20	1 0.50	3 0.11	12 0.20	610	○	○	○	レ
流行性角結膜炎									0 0.00	78				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19 3.80	13 1.30	1 0.20	1 0.50	5 1.67	38 7.60	1 0.50	47 1.74	125 2.12	6,842	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	7				
無菌性髄膜炎									0 0.00	4				
マイコプラズマ肺炎	2 2.00		1 1.00			2 2.00	1 1.00	5 1.00	11 0.92	217				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症		4 0.40	1 0.20					8 0.30	13 0.22	308				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	13				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	11	3	5	1		1	1	6					
	川崎病								1					
	不明発疹症								12					

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

大崎管内 女性1名
登米管内 女性2名(第28週)
仙台南管内 男性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O26)

塩釜管内 女児1名※
栗原管内 女性1名
仙台南管内 男性1名、女性1名
腸管出血性大腸菌感染症(O103)
栗原管内 女性1名
腸管出血性大腸菌感染症(O不明)
登米管内 女性1名

4類感染症: レジオネラ症

仙台南管内 男性2名

5類感染症: 侵襲性肺炎球菌感染症

仙台南管内 男児1名※
カルバペネム耐性腸内細菌感染症(*Enterobacter colacae*)
仙台南管内 男性1名

※男児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[ヘルパンギーナ]

塩釜管内で警報値を超えた

[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]

石巻管内で警報継続中

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

病原体の検出なし

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定	中 間 報 告	
	第27週採取分 (7.4~7.10)	第28週採取分 (7.11~7.17)	第29週採取分 (7.18~7.24)
RSウイルス	0件	0件	1件
ヒトメタニューモウイルス	2件	0件	0件
エンテロウイルス	1件	1件	1件
サイトメガロウイルス	1件	1件	0件
パラインフルエンザウイルス1型	0件	0件	5件
パラインフルエンザウイルス3型	9件	6件	2件

※「パラインフルエンザウイルス3型」が継続して分離されています。

4. 今週のコメント

【ヘルパンギーナ】

7月より県内での患者報告数が上昇していましたが、今週塩釜管内で警報値を超え、他管内でも急激な患者増加が確認されています。主な症状は38度以上の突然の発熱と口の中のできる水ほうです。感染経路はウイルスが含まれた咳やくしゃみを吸い込んだり、手に付いたウイルスが口に入ることによって感染します。この他、便にもウイルスが排出されることから患者の便のとり扱い(おむつの交換など)にも注意が必要となります。患者の多くは小児であることから、家庭の他、保育園、幼稚園、学校等でもこまめな手洗いや咳エチケット、タオルの共用は避けるなど、感染予防の徹底が必要です。

宮城県定点週報告対象疾病の推移

